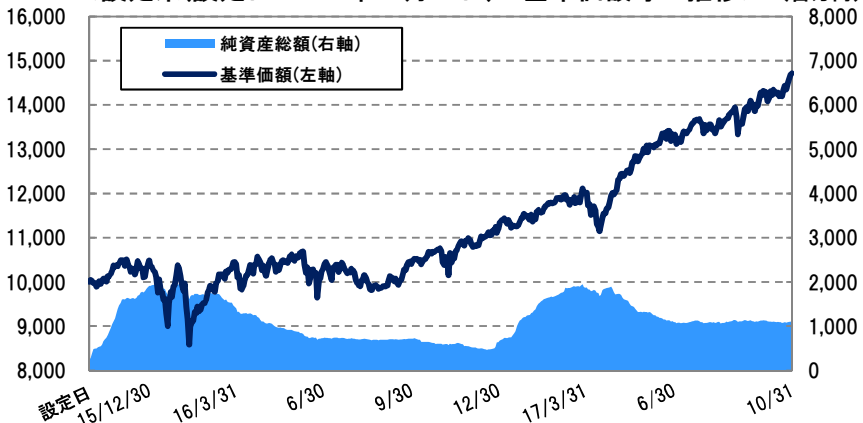


### 2017年10月31日基準

(円) < 設定来(設定日:2015年10月29日)の基準価額等の推移 > (百万円)



基準価額	純資産総額
14,716円	1,094百万円
前月末比	ハイ・ウォーター・マーク
+498円	13,744円

組入資産の状況(単位:百万円)		
組入資産	金額	組入比率
小型成長株・マザーファンド	275	25.17%
中小型成長株・マザーファンドⅡ	263	24.03%
中小型割安成長株・マザーファンド	536	49.02%
現金等	20	1.78%
純資産総額	1,094	100.0%

※基準価額は信託報酬控除後のものです。  
 ※ファンドの基準価額(1万口当たり、既払分配金を加算しません。)が15,000円を上回った場合は、安定運用に順次切替を行いファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。  
 ※未払金等の発生により現金等の数値がマイナスになることがあります。

### 期間別騰落率の推移

設定来	直近1カ月	直近3カ月	直近6カ月	直近1年	直近3年	直近5年
47.16%	3.50%	8.53%	22.89%	36.73%	—	—

※騰落率は、税引前分配金を再投資したものととして算出した累積投資基準価額により計算しています。

### 収益分配金(税引前)の推移

	第1期	第2期	第3期	第4期	—	設定来累計
決算日	2016/3/11	2016/9/12	2017/3/13	2017/9/11	—	
分配金	0円	0円	0円	0円	—	0円

※収益分配金は1万口当たりです。

### 当月の運用状況 2017年10月31日基準

各マザーファンドへの基本配分は、経済見通し及びファンダメンタルズ等を総合的に判断し、中小型割安成長株・マザーファンド50%、小型成長株・マザーファンド25%、中小型成長株・マザーファンドⅡ25%としています。

以下はマザーファンドへ投資助言を行っているエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からのコメントです。

#### 【当月の運用概況】

10月の日本株式市場は企業業績の改善期待が高まる中、堅調に推移しました。加えて衆議院選挙で与党が大勝したことも安心感につながり、日経平均株価は24日まで16日間続伸して過去の続伸記録を更新、27日には21年ぶりに22,000円台を回復しました。

当月も積極的に経営者との個別直接面談調査を実施しました。組入企業の足元の業績については、全般的に想定通り、もしくは想定以上に推移していることを確認しています。また、発表された決算についても概ね想定通りであることが確認できています。したがって、徹底した調査を踏まえて成長性と比べて株価が割安な水準と判断した場合には、積極的に積み上げの助言を行う計画です。

#### 【投資助言会社からのコメント】

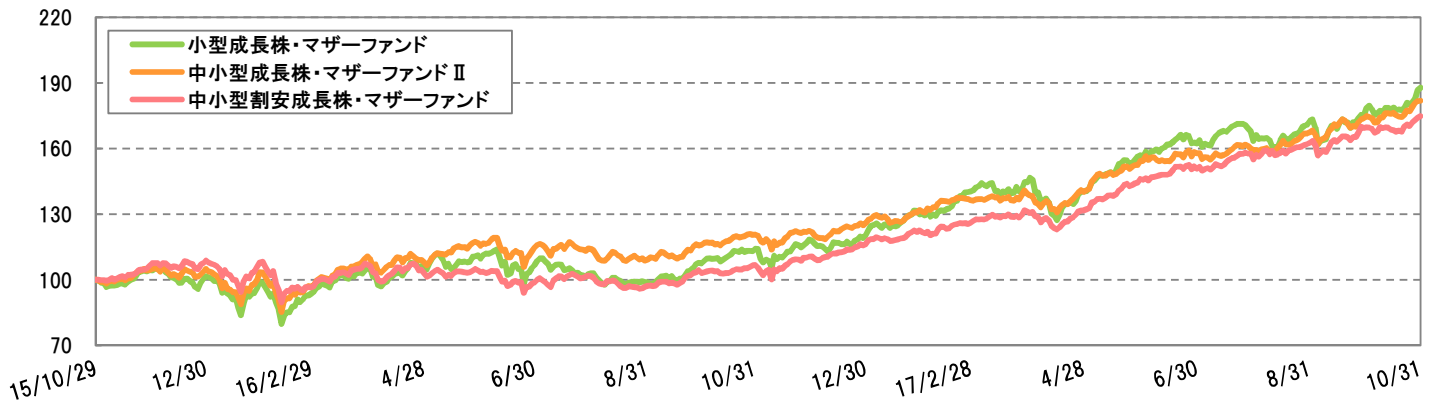
当月は日経平均株価が24日まで16日間続伸と過去最長記録を更新、さらに27日には21年ぶりに22,000円台を回復しました。この背景の一つには3月決算企業の第2四半期(7~9月)決算発表に対する期待感があります。実際、日本の景気は良好といえる状況で、25日に政府から発表された10月の月例経済報告では、景気判断が「緩やかな回復基調が続いている」と据え置かれているほか、24日に財務省が開いた全国財務局長会議では、全国の景況判断を「回復している」として7月の前回報告から引き上げています。

企業活動が活発になってきたことは、日々の調査活動の中でも感じ取ることができます。例えば、法人向けにオフィス用品や消耗品を販売している企業が開示している月次売上高を見ますと、年初に比べて年央以降の増収率が高まってきています。また、人材関連サービスを展開している企業には引き続き旺盛な引き合いが来ており、人材需給が逼迫していることが窺えます。そして何よりも、面談させて頂いている企業経営者の方々から先行きの景気全般に対する強気なコメントをお聞きする機会が増えてきました。とはいえ、外部環境の良さをどれだけ追い風にできるかどうかは企業によって異なります。それを見極めるためには、丹念な調査と分析を続けていくしかありません。とりわけ、業績が激しく変化する中小型株投資においては欠かせないことだと考えています。今後も引き続き、経営者の方々に対する継続的な個別直接面談調査を通じて、より魅力的な企業を厳選してまいります。

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

2017年10月31日基準

### 組入マザーファンドの価額推移(指数化)



※設定日(2015年10月29日)を100として指数化しています。

### マザーファンド別 組入上位銘柄

#### 小型成長株・マザーファンド

##### 組入上位銘柄

	銘柄名	業種名	組入比率
1	ラクス	情報・通信業	3.61%
2	ヤマシンフィルタ	機械	3.58%
3	SHIFT	情報・通信業	3.49%
4	綿半ホールディングス	小売業	3.44%
5	インソース	サービス業	3.41%

組入銘柄数

52銘柄

#### 中小型成長株・マザーファンドⅡ

##### 組入上位銘柄

	銘柄名	業種名	組入比率
1	船井総研ホールディングス	サービス業	3.95%
2	アークランドサービスホールディングス	小売業	3.72%
3	レーザーテック	電気機器	3.48%
4	日特エンジニアリング	機械	3.48%
5	寿スピリッツ	食料品	3.38%

組入銘柄数

54銘柄

#### 中小型割安成長株・マザーファンド

##### 組入上位銘柄

	銘柄名	業種名	組入比率
1	ニチハ	ガラス・土石製品	3.56%
2	SHOEI	その他製品	3.50%
3	アミューズ	サービス業	3.33%
4	ラウンドワン	サービス業	3.21%
5	プレステージ・インターナショナル	サービス業	3.19%

組入銘柄数

55銘柄

※上記の組入比率は各マザーファンドの純資産総額比です。

2017年10月31日基準

### 個別銘柄紹介

#### 小型成長株・マザーファンド

#### ～ビジョン(9416)～

「ビジョン」は、海外旅行の利便性を高める『グローバルWiFi(ワイファイ)』で高成長を続けています。スマートフォンは日々の生活に浸透しているため、海外旅行に行く場合でも手放せない機器の一つです。むしろ不案内な海外だからこそ、地図アプリを見たり、飲食店情報を検索したりと、普段以上に活用するシーンが増えることでしょう。『グローバルWiFi』を利用すると、1日単位の定額料金でレンタルしたルーター(通信端末の一種)に複数のスマートフォンやタブレット端末を接続することで、普段と変わらないインターネット環境を得ることができます。同社は世界30以上のキャリア(通信事業者)と連携することで、国内大手キャリアが提供する海外通信サービスよりも割安かつスムーズな通信環境を提供しています。また、年々増加する訪日外国人に対しても同社のルーターは提供されており、日本でも快適なインターネット環境を得たいという要望に応えています。

『グローバルWiFi』は個人旅行用途にとどまらず、法人の海外出張用途でも活用されており、売上高の半分強を法人向けが占めています(2017年12月期上期実績)。出張する人が代わっても、常に一定の需要がある法人向けは同社も強化しており、今年7月には独自の法人限定サービスを開始しています。具体的には、世界中で使える最新ルーターを法人顧客の社内に常備してもらい、海外出張時のみレンタル費用が発生するという料金体系のサービスです。法人顧客の費用負担は従来と変わらず、ルーターの受取・返却の手間がなくなるため、大変利便性の高いものとなっています。同社にとっても受取・返却の手間が減り、競合サービスへの乗り換えを抑制できるという恩恵があります。個人・法人の需要をバランスよく取り込み、同社は引き続き高成長を目指しています。

#### 中小型成長株・マザーファンドⅡ

#### ～薬王堂(3385)～

東北地方を地盤として拡大を続けているドラッグストアチェーン「薬王堂」をご紹介します。1978年に岩手で創業して以降、2000年に宮城・秋田、2002年に青森、2008年には山形へと進出し、2017年9月末現在では東北5県で235店を展開しています。同社の店作りの特徴としては、一般的なドラッグストアの定番である医薬品・化粧品だけでなく、食品・衣料品・日用品など購買頻度の高い生活必需品の品揃えを戦略的に充実させて、さらにそれらをESLP( Everyday Same Low Price: 毎日変わらない低価格)で販売している点にあります。この施策によって消費者の習慣的な来店を促すとともに、1人当たりの買上げ点数を引き上げることで、商圏人口7,000人という小商圏でも成立する売上を確保しています。もちろん、単純なESLP施策導入は利幅を削るだけです。そこで同社は、自動発注システムによる発注時間削減、カテゴリ・納品精度向上、補充作業の外注化、表示価格変更作業削減などによって、店舗業務の徹底的な単純化・標準化を進めています。ESLPと低コストを両輪とした取り組みによって、利益を伴った売上成長を実現しているのは注目すべきポイントといえるでしょう。

同社は将来的な人口減少を見据え、現在のモデルを一步進めた商圏人口5,000人対応の店作りを実現することで、新規出店とエリア拡大の加速を目指しています。そこで消費者の来店頻度を更に上げるべく、2017年1月にはポイントカードにプリペイド機能を付加した『WA!CA(ワイカ)』を導入しました。さらに12月には「NTTドコモ」の『dポイント』取扱いが開始するほか、2018年1月には公式アプリや、クーポンと連動した歩数計アプリも導入する予定です。こうした先進的な施策も積極的に取り入れながら地域密着を推進していくことで、同社は更なる成長を目指しています。

#### 中小型割安成長株・マザーファンド

#### ～ユーシン精機(6482)～

「ユーシン精機」は、各種プラスチック製品の製造工程に欠かせない取出口ボットのメーカーとして、世界トップシェアを誇っています。様々な形状のプラスチック製品が日常生活で使われていますが、その製造工程は高温で溶かした樹脂を金型に流し込み、冷却して固めるというものです。1960年代のある筆記具メーカーでは、樹脂を固める射出成形機1台1台に作業員がつき、24時間3交代で金型からプラスチック成形品を取り出す作業をしていました。取出口ボットは成形品を金型から自動かつ高速で取り出すロボットであり、同社はプラスチック製品の普及とともに事業規模を拡大してきました。取出口ボットメーカーとしては業界最後発でしたが、既成概念にとらわれず新たな技術を取出口ボットに応用し、高い機能性と省エネ性を兼ね備えたロボットを開発。販売先は日本国内にとどまらず、海外売上高が全体の6割を占め、アジアを中心に海外子会社12社を設置するなど、世界規模で事業を展開しています。

同社の飽くなき製品開発は取出口ボットにとどまらず、様々な自動化機器の開発も手掛けています。例えば、射出成形機で休みなく製造される成形品を容器に保管し、容器が一杯になれば新しい容器に交換するストックシステムは、取出口ボットと組み合わせれば生産ラインの自動化に貢献します。また、取出口ボットの“つかむ”“運ぶ”といった動作技術を応用したパレタイジングロボットは、工場内で箱詰めされた製品をパレット(荷物を載せる荷役台)に自動かつ最適な荷姿で配置することが可能です。さらに、京都大学や大阪大学と共同研究を進めるなど、外部の知見を活用した製品開発も進めており、研究開発型企業としての強みを磨くことにも余念がありません。国内外問わず製造工程の自動化に対するニーズは強く、そのなかで同社は持続的な成長を目指す方針です。

上記は本ファンドのマザーファンドに対して助言を行っているエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントです。ご紹介する企業はファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。

ファンドの特色

1 成長が期待される新興企業の株式に厳選投資を行います。

- 成長ステージ、収益性及び株価水準等により企業を選別し運用される3つのマザーファンドに投資を行います。
- 各マザーファンドとも、概ね50社程度の株式へ分散投資を行います。原則として、各マザーファンドが組入れる企業は重複しません。

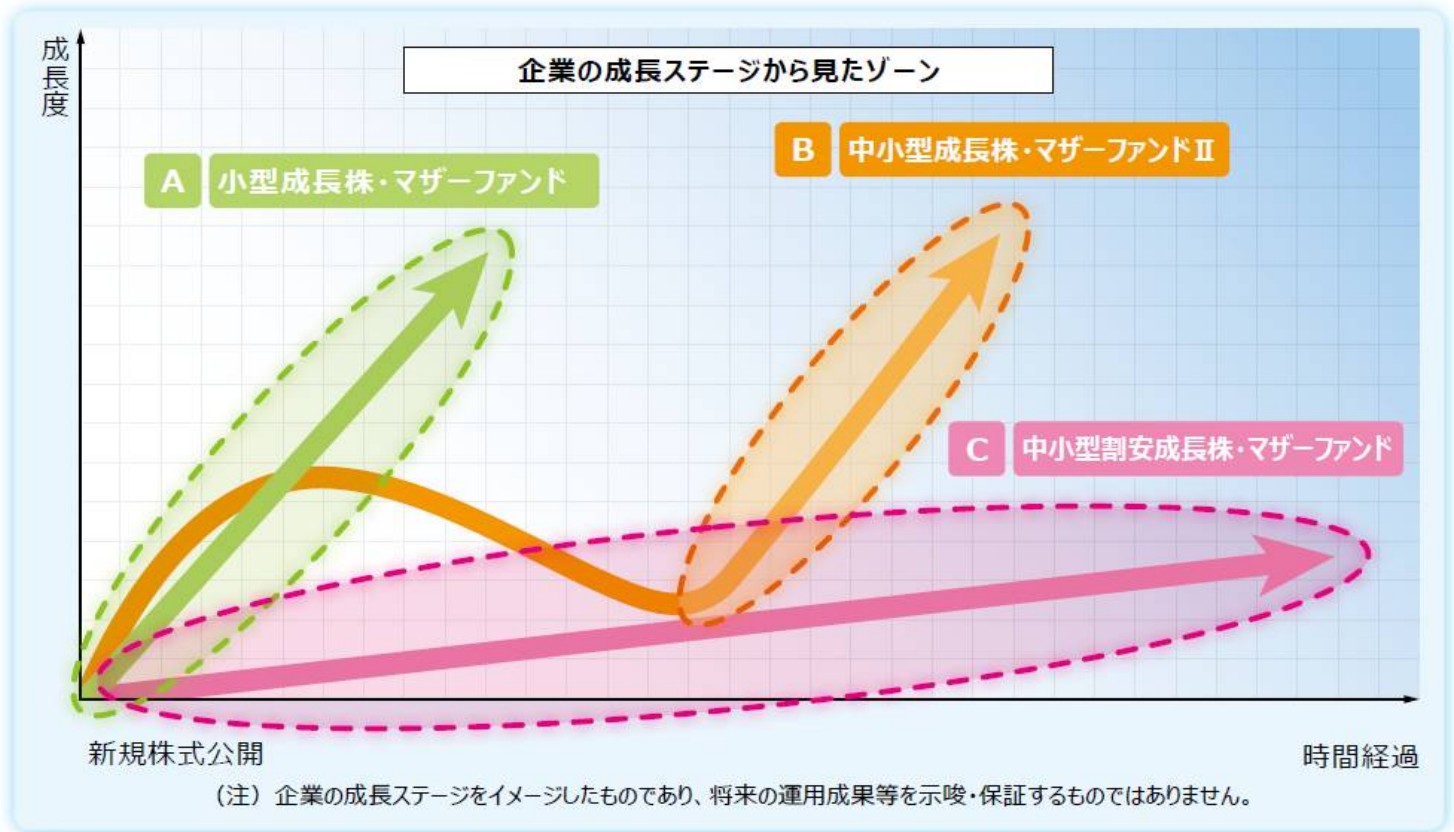
■ マザーファンドの特徴

<組入候補企業>

<b>A</b> 小型成長株・マザーファンド	新規株式公開を契機に成長の加速が見込まれる新興成長企業
<b>B</b> 中小型成長株・マザーファンドⅡ	何らかの理由(課題・困難)に直面していて割安な株価ではあるものの、中・長期的に投資魅力が高いと見込まれる企業
<b>C</b> 中小型割安成長株・マザーファンド	株価が下落した銘柄から財務安定性に優れ、業績も安定しており、経済社会への貢献が見込まれる企業

■ 組入企業の選定

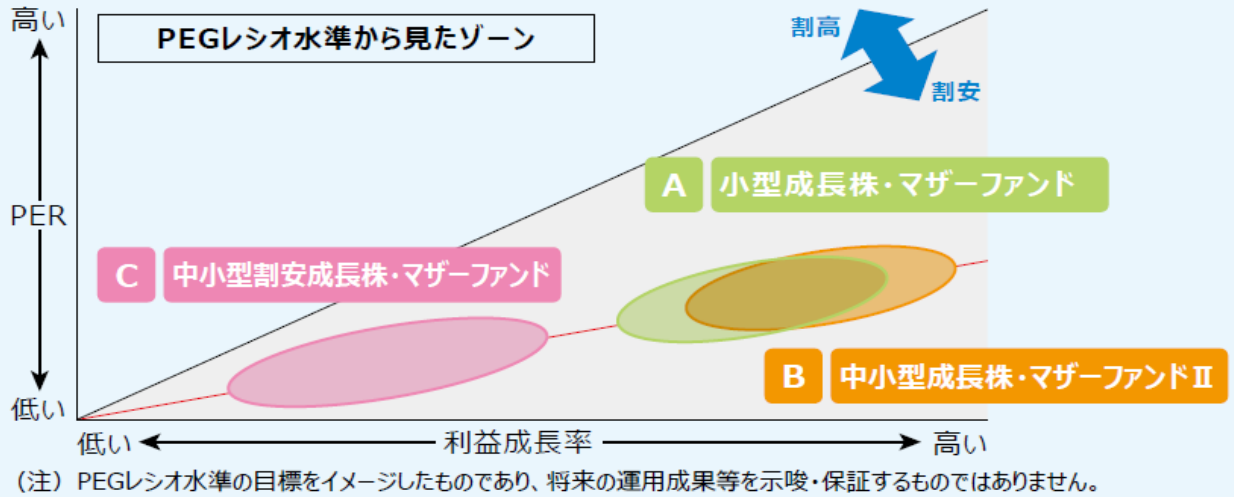
- 企業の成長ステージに着目し、組入候補企業を選定します。
- 候補の中から、成長戦略の実効性、収益性及び株価水準等を総合的に判断し、組入を決定します。



○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

ファンドの特色

- 革新的な成長企業群から、それぞれの成長ステージに応じて割安と判断される組入候補企業を選定します。選定した企業をPEGレシオ水準で表した場合には概ね次のようなイメージとなります。



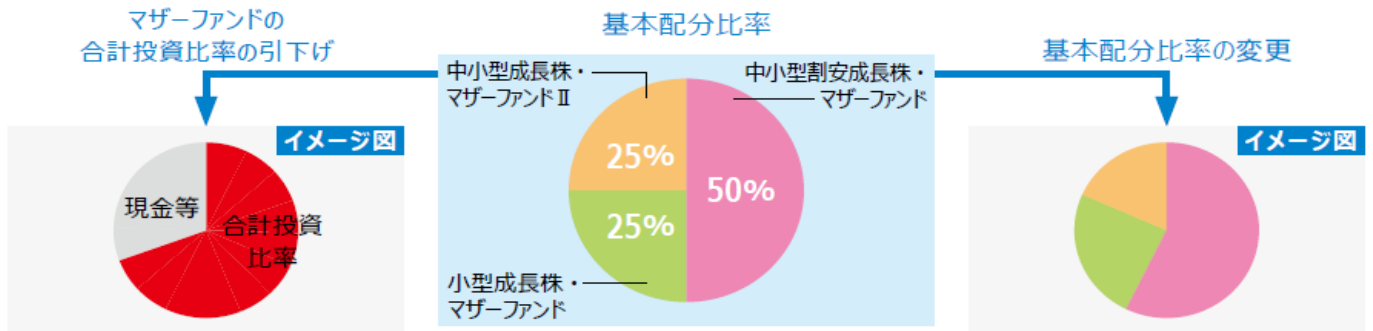
PEGレシオ (Price Earnings to Growth Ratio) とは、企業利益成長率を加味して、株価が割安であるか割高であるかを評価する指標です。値が低いほど割安とされ、主に新興企業の株式への投資判断などに用いられます。

$$\text{PEGレシオ} = \text{PER (株価収益率)} \div \text{利益成長率}$$

$$\text{※PER (株価収益率)} = \text{株価} \div \text{1株当たり利益}$$

## 2 マザーファンドへの投資割合は、中小型割安成長株・マザーファンドに50%、小型成長株マザーファンドに25%、中小型成長株・マザーファンドⅡに25%を基本配分とします。

- 株価下落が継続すると判断した局面では、マザーファンドの合計投資比率を引下げ、基準価額下落リスクの低減を目指します。(委託会社は、株式の実質組入比率の調整を50~100%の間で行うことができます。)
- マザーファンドへの基本配分は、委託会社が中長期的な経済見通し、ファンダメンタルズ及びテクニカル指標等を総合的に判断し適宜見直します。また、経済環境の変化等が見込まれた場合にも見直しを行う場合があります。



(注) ファンドのコンセプトをイメージしたものであり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## 3 中小型株の調査に特化したエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資助言を受けて運用を行います。

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

投資リスク

基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンド受益証券を通じて主に国内株式を投資対象としています。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

主な変動要因

**株価変動リスク** 一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が下落した場合には、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。また、株式の価格下落が継続すると判断した局面では株式の実質組入比率を引下げ、基準価額の下落リスク低減を目指しますが、リスク低減を確実に保証するものではありません。

**流動性リスク** 株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

**信用リスク** 投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

基準価額(1万口当たり。既払分配金を加算しません。以下同じ。)が一度でも15,000円を上回った場合には、短期有価証券、短期金融商品等の安定資産による安定運用に順次切替を行い、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。(償還価額が15,000円以上であることを保証するものではありません。)

※流動性等により保有銘柄の売却がすみやかに行えない場合があるため、基準価額が15,000円を上回ってから繰上償還が行われるまでに日数がかかることがあります。

※上記基準価額水準は、安定運用に移行する水準であり、本ファンドの基準価額が15,000円を上回ることを示唆または保証するものではありません。また、安定運用への移行が完了するまでの株価変動や、安定運用期間中の信託報酬等の負担により、基準価額が下落することがあります。

- 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。

<ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。>

委託会社、その他関係法人

委託会社 SBIアセットマネジメント株式会社 (信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)及び運用報告書の作成等を行います。)  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 (ファンド財産の保管・管理等を行います。)

販売会社 ※9ページをご参照ください。(受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。)

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

### お 申 込 メ モ

購 入 単 位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入 価 額	購入申込受付日の基準価額 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購 入 代 金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換 金 単 位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換 金 価 額	換金申込受付日の基準価額から0.3%の信託財産留保額を控除した価額となります。 換金手数料はかかりません。
換 金 代 金	換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。
申 込 締 切 時 間	原則として午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込みとします。 ※受付時間は販売会社によって異なることありますのでご注意ください。
換 金 制 限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購 入・換 金 申 込 受 付 の 中 止 及 び 取 消 し	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信 託 期 間	無期限(設定日:平成27年10月29日(木))
繰 上 償 還	・基準価額(1万口当たり、既払分配金を加算しません。以下同じ。)が一度でも15,000円を上回った場合には、短期有価証券、短期金融商品等の安定資産による安定運用に順次切替を行い、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。また、当該基準価額水準は、安定運用に移行する水準であり、本ファンドの基準価額が15,000円を上回ることを示唆または保証するものではありません。 ・受益権の口数が10億口を下回る事となった場合等には繰上償還となる場合があります。
決 算 日	年2回(原則として3月と9月の各11日。休業日の場合は翌営業日。)
収 益 分 配	年2回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社によっては、分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社までお問い合わせください。
課 税 関 係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には変更となる場合があります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込金額に3.24%(税抜:3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。

投資者が間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、次の①基本報酬と②実績報酬を加算した額とします。 なお、当該信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。									
	①基本報酬 ファンドの日々の純資産総額に年1.512%(税抜:年1.40%)を乗じて得た額とします。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2">運用管理費用(信託報酬)</td> <td>年1.512%(税抜:年1.40%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内訳</td> <td>委託会社</td> <td>年0.918%(税抜:年0.85%)</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年0.54%(税抜:年0.50%)</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年0.054%(税抜:年0.05%)</td> </tr> </table> ・委託会社の報酬より、投資顧問(助言)会社への報酬が支払われます。	運用管理費用(信託報酬)		年1.512%(税抜:年1.40%)	内訳	委託会社	年0.918%(税抜:年0.85%)	販売会社	年0.54%(税抜:年0.50%)	受託会社
運用管理費用(信託報酬)		年1.512%(税抜:年1.40%)								
内訳	委託会社	年0.918%(税抜:年0.85%)								
	販売会社	年0.54%(税抜:年0.50%)								
	受託会社	年0.054%(税抜:年0.05%)								
その他の費用 及び手数料	②実績報酬 本ファンドは信託報酬に加えて、ハイ・ウォーター・マーク方式による実績報酬を受領します。 [実績報酬算出日の決算前基準価額 <sup>※</sup> - ハイ・ウォーター・マーク] × 受益権総口数 / 1万 × 21.6%(税込) ※毎計算期末において、当該日の1万口当たり基準価額(実績報酬控除前の1万口当たり基準価額(「決算前基準価額」))がその時点のハイ・ウォーター・マークを上回った場合は、翌営業日以降のハイ・ウォーター・マークは、当該基準価額に変更されます。									
	ファンドの監査費用、有価証券売買時の売買手数料、信託事務の諸費用、目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書・運用報告書作成などの開示資料の作成、印刷にかかる費用及びこれらに対する税金をファンドより間接的にご負担いただきます。監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。									

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。



【販売会社情報一覧表】

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第67号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○

■販売会社では、受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。

ファンドのご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。